

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

4 つの診療科別グループに分かれ、診療科毎の勉強会の企画やカンファレンスを行い、計画的に学べる機会を作った。新たに発足した脆弱性骨折チームでは、栄養状態や嚥下状態など話し合い、入院時から外来へ向けた継続的な治療を行えるように、医師、看護師、栄養士、作業療法士、理学療法士、薬剤師など多職種による合同カンファレンスを行っている。今後はチームメンバー以外の看護師もカンファレンスに参加し、更なる看護の質の向上に努めていきたい。

2) 病院経営に参画する

病床稼働率 97.5%(前年度 99.8%)、病床利用率 90.4%(前年度 93.4%)、平均在院日数 13.5 日(前年度 15 日)、特別室稼働率 101.2(前年度 98.2%)、重症者室稼働率 95.1%(前年度 96.0%)であり、大きな変化はなかった。重症度、医療・看護必要度は 37.3%と目標を達成した。SPD ラベルの紛失は 64 枚あり、紛失率の高いものは定数の見直しと箱単位での請求に変更し、開封済の物品管理場所を固定化した。また、看護用品や医療機器の定数を見直し、物品数だけでなく適切に物品が使用できるか確認できるようなチェックリストを作成したため、今後活用していく。

3) 患者の視点に立った医療安全・感染対策を推進する

インシデント総数は 291 件(前年度 334 件)で前年度より減少した。毎月テーマを決め ImSAFER を用いてインシデントカンファレンスを行った。また、せん妄患者や認知症患者に対して、毎日日勤帯で転倒転落カンファレンスを行い、抑制や離床センサーの必要性を話し合い、リスク感性の向上に努めた。療養上の世話では表皮剥離や水疱破綻によるものが 49 件と多く、発赤部やリスクの高い部位には貼付材や保湿剤を使用し予防に努めている。褥瘡予防に対しては体位変換枕を多種類購入し、部位別に使い分けを行っている。今後は MDRPU のリスクアセスメントも強化し、予防策を実施できるように取り組む。毎週日曜日に患者周囲の環境チェックを行っているが、術後不要な物品が残っていることが多く、安全・感染予防の観点から患者の療養環境調整を意識して行えるよう今後も取り組んでいく。

4) 専門職としての能力開発に努める

病棟勉強会を 20 回実施した。看護研究は 1 件継続中であり、次年度の発表予定である。院外研究発表はコロナ禍の影響で学会が中止となったため次年度発表予定となった。新人看護師の育成に関しては、実地指導者を中心に技術の伝達講習を行い、新人看護師主催で実地指導者と病態の勉強会を開催した。日々の実践の中ではグループ毎に指導し、新人指導に取り組んだ。学生指導に関しては、実習毎にファイルを作成し、実習目標の周知や学生に関する申し送りが円滑にできるように環境を整え、今後も継続し評価していく。

5) 活気のある職場、やる気の出る職場づくりを推進する

今年度より PNS[®]の残務補完体制を導入し、残務量を各勤務リーダーで共有し、次勤務者へ依頼するように取り組んだ。残務補完体制についてのアンケートを実施し、時間をかけずに残務内容が明確にできるように、残務表を修正した。しかし、超過勤務は 369.07 時間/月(前年度 290 時間/月)であり、超過勤務の削減には至っておらず、今後は業務内容自体の見直しを行い、超過勤務の削減に取り組む。夜勤帯に関しては、11 月より週末の夜勤から PNS[®]を導入し、2 月からは 4 人夜勤は PNS[®]で行っている。今後 3 人夜勤にも PNS が導入できるように取り組んでいく。

2. 病床運営状況

表 1 令和 2 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
48	腎臓内科・腎移植外科 ・泌尿器科・整形外科	88.7	102.8	43.6	13.9	90.9	97.9

重症加算病床		有料個室		死亡者数 (人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
4	94.7	6	101.6	15

看護体制

表 2 令和 2 年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜間体制(準:深夜)
37	PNS [®]	4:3

3. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 2 年度 一般病棟 重症度、医療看護必要度 II

基準を満たす患者の 割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		35.8	42.0	41.4	41.2	40.6	35.6	40.3	41.1	36.2	40.9	35.3	39.4

2) 部署データ

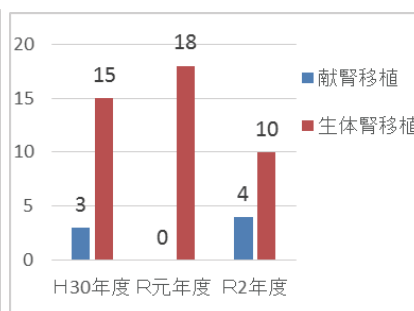
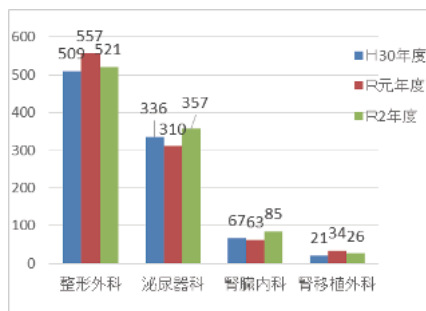
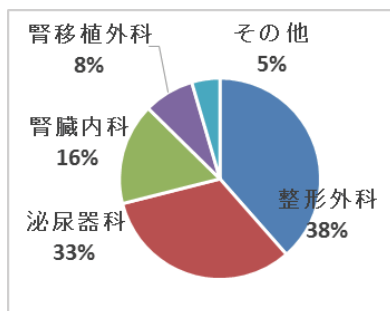


図 1. 診療科別入院患者比較

図 2. 診療科別手術件数

図 3. 腎臓移植手術件数

表 4 令和 2 年度 透析導入件数

透析導入件数(件)	血液透析	腹膜透析
	35	10

表 5 令和 2 年度 パス使用件数

パス使用件数(件)	泌尿器科	整形外科	腎臓内科	腎移植外科	その他	合計
	377	238	22	64	56	643